

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38343	
事業名	ウインタースポーツ普及振興費						
評価担当課	所 属	ス)スポーツ部 企画事業課			電話番号	011-211-3044	
施策名	身近なところでウインタースポーツを楽しむことのできる環境が充						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市の特徴であるウインタースポーツを生涯にわたって楽しめるよう、子どもたちへのウインタースポーツを始めるきっかけづくりと学習環境の充実を図るとともに、市民へのウインタースポーツの観戦文化の醸成を図る。					
	事業内容(何を実施し)	①料金助成 スキーリフト(小学生一年1回1,000円分)、スケート貸靴(小学生一年2回各300円分、中学生一年1回300円分)、スキーレンタル(4～6歳一年1回1,500円分)、チラシデザイン(年4回)チラシ印刷(年4回) ②学習支援 【レベ】Aスキー学習インストラクター派遣(中学・高校・特別支援学校の授業へのインストラクター派遣、小学・中学の肢体不自由のある児童生徒に対するバイスキーインストラクター派遣)B歩くスキー出前授業(小学の宿泊学習等)【レベ】C地域スポーツ指導者派遣(中学のウインタースポーツ授業へ有償ボランティア)【レベ】Dスキー遠足パッケージ(インストラクター派遣の支援) ③【レベ】観戦文化の醸成 スキージャンプ大会の観戦環境の充実					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	札幌市のスポーツ文化の一つであるウインタースポーツを「する」実施率を高める。 ウインタースポーツを「みる」文化を定着させる。					
	他都市の状況						
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外					
	令和4年度決算額	146,022 千円	うち特定財源	110,354 千円	正規職員業務量	1.7 人	工
令和5年度予算額	62,000 千円	うち特定財源	10,012 千円	正規職員業務量	1.7 人	工	
令和5年度決算額	50,633 千円	うち特定財源	8,549 千円	正規職員業務量	1.7 人	工	
令和6年度予算額	88,000 千円	うち特定財源	23,002 千円	正規職員業務量	1.7 人	工	
指標	アウトプット活動指標1	インストラクター及び指導者の派遣人数(累計)			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		11125	12500	12459	13479	14977	16475
	↓						
	アウトカム成果指標1	ウインタースポーツ実施率(18歳～49歳・年1回以上)			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		19%	30%	20.90%	21.00%	22.00%	23.00%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	スキー学習実施校減少のため、派遣インストラクター数が減少。派遣基準を緩和し、派遣インストラクター数を増加させる。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	・スキー学習の拡大及び維持に向けて、派遣インストラクターの増加を図る。 ・スキーレンタル料金助成の対象を保護者に拡大する。						
来年度以降の方向性	ウインタースポーツに親しむ機会を創出するため、料金助成の周知方法を見直し、利用者の拡大を図る。						